

# 在宅高齢者の歯と口の健康向上推進事業

イメージ

〔地域医療介護総合確保基金事業（歯科保健事業）〕

## 【目的】

適切に口腔に関する介護サービスを導入するために、介護サービス計画書(ケアプラン)を作成する介護支援専門員(ケアマネジャー)が歯科に関する知識を習得することで要介護高齢者のQOL向上、誤嚥性肺炎などの全身疾患の予防、全身の健康状態の維持・向上を図る。

## 【事業概要】

適切なタイミングで口腔に関する介護サービスをケアプランに導入するためのケアマネジャー向けの歯科口腔保健に関する教材等を作成し、ケアマネジャーに対し、要介護者の口腔ケアに精通した歯科医師、歯科衛生士が研修を実施することで、要介護者の低栄養予防、誤嚥性肺炎の予防、フレイル(身体機能の虚弱)予防につなげ、身体機能の維持・向上を図る。

地域における居宅介護支援事業所のケアマネジャー等に対し、施設利用者等への機能的口腔ケアを充実させるための研修を実施（実施方法：対面、web方式等）

## 【受講生】

・地域における居宅介護支援事業所のケアマネジャー等

## 【保健指導用教材】

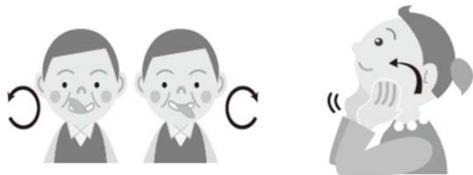
小冊子、動画等



## 【講師】

口腔健康管理に精通した  
歯科医師、歯科衛生士

## 健口体操



※研修会実施一定期間後、2回目の研修を実施し、歯科口腔に関する介護サービスのケアプランへの導入状況、利用者の口腔状態などをアンケート等により把握する。

要介護者の状態に合わせた適切な歯科口腔に関するサービスをケアプランへ導入

居宅や施設において、適切な歯科口腔に関するサービスを実施し、要介護者高齢者QOL向上



・低栄養予防  
・誤嚥性肺炎の予防  
・フレイル(身体機能の虚弱)予防  
・身体機能の維持・向上につながる！